

ウクライナの人々のためにロザリオを 一緒に祈りませんか

2022年3月11日
カトリック釧路教会
主任 内藤神父

幼稚園の行事(卒園感謝の祈り)の朝、テレビに、つなぎの防寒具、毛糸の帽子を被った5・6歳くらいの子どもが、身の回りのものを引きずり、泣きながら独りで道を歩く姿が映し出されていました。観ていて・・・グッと、こみ上げてくるものがありました。

皆さんも、毎日報道されるウクライナの人々の苦境にあえぐ状況を観て心を痛めていると思います。

苦境下にいるウクライナの人々のために私達は具体的なことは出来ません。でも・・・祈ることは出来ます。

ひとり、ひとり、祈っていると思いますが、釧路教会でも私達が皆、心を合わせて聖母マリアに祈りませんか？

このコロナ禍で一同に集まることは出来ませんが、毎日決まった時間に、皆さんがいる、それぞれの場で、ロザリオを唱えませんか？

- 毎日(決まった時間) ☞ 午後3時
- 自分がいる、その場所で(自宅・その他)
- ロザリオを唱える
- 意向：苦しい状況下にいるウクライナの人々のために

参加・ご協力可能な方はお願いします。